

30年度大岡小学校 3年1組 クラスの学びを発信します！

やって楽しい 見て楽しい 独楽回し！ ～独楽と仲良くなろう～

3年生になり、初めての大岡の時間について話合うと、「1年間1つの事に繰り返し挑戦したい。」
「楽しいだけでなく、『すごい！』って言われたい。」
「もっとまちの人と関わりたい。」などの思いが膨らみました。

『楽しくてすごいもの』という中で、一部の子どもから休み時間に取り組んでいた『独楽』の名前が
あがりました。国語の『こまを楽しむ』の学習も重なり、
独楽に興味をもち始めた子どもたち。中には独楽を回したことがない子どもいたため、
休み時間や大岡の時間で試す時間をもちました。独楽の楽しさや魅力を感じ始めていたころ、
通りがかった上級生から「すごいね。」と声をかけられたことで、
子どもたちは「これだ！！」と独楽の魅力を実感。そこから「できるようになった技をもっと見てほしい。」
「独楽で見ている人を楽しませたい。」と願いが生まれ、みんなで『やって楽しい 見て楽しい
独楽回し』を追究していくことになりました。



早速「独楽と仲良くなること」を目標に活動がスタートしました。試した技やできた技を交流して独楽に親しむうち、「1組以外の人にも見てもらいたい」という思いが膨らみます。そこで、まずは同じ3年生にできるようになった技を発表しました。ふり
返りからは、「『すごい！』と言ってもらえてうれしかった。」
「成功できなかったから、1回できるようにしたい。」など、
成果と課題が見えてきました。

また、国語の「こまを楽しむ」では大道芸人さんをお迎えし、
本物の独楽芸を見せて頂く機会がありました。芸人さんの独楽芸に
引き込まれた子どもたち。芸人さんと自分たちの違いを実感しながら、
具体的な目標をもっていきます。

3年生への発表の経験、大道芸人さんとの出会いを経て、
子どもたちは難しい技を成功させるには「安定した独楽回し」
が大切だと考えました。今は「安定した独楽回し」を目指して、
クラス全員がコツを模索し、試行錯誤している最中です。

今後は安定した独楽回しをもとにした技の追及や、
2回目の発表の準備を進めていく計画です。これからの活動も
楽しみです。

安定した独楽回しには、「まき方」も大切です。ていねいにすきまく、膨らんだりゆがんだりしないようにします。

